

令和8年1月9日(金)

おもしろプチ博物館！！ 巨大なもの、珍しいものがいっぱい



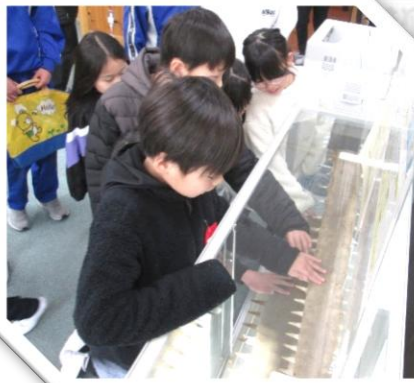
沖本先生の
おもしろプチ博物館
日本や世界中の珍奇で魅力的
な変わった生き物たちを実物の
標本で毎週紹介していきます！

ノコギリエイ

脊索動物門 軟骨魚綱 ノコギリエイ目 ノコギリエイ科



- ・最大7mになり、世界最大の淡水魚ともいわれている。
- ・ノコギリ部分の割合は全長の25%（四分の一）程度。
- ・展示標本は1.2mなので、持ち主の全長は4.8mになる。
- ・世界中の海水が温暖な浅瀬から汽水域（海水と淡水が混る）に生息。
- ・世界に約7種が生息。⇒付属のパネルを見てね！
- ・外向きに並ぶ2列の歯は泳いでいる獲物を突き刺し弱らせるため！
⇒この吻には獲物が出す微電気を感知するロレンシーニ器官をもつ。
- ・歯列は皮膚にある突起状の「皮歯（鱗）」がノコギリ状に進化した。
- ・ワシントン条約附属書Ⅰに掲載されている絶滅危惧種。



次回予告

世界一大きな植物の○○を
展示します。
実物を見たことがある人は
まずいないと思います！
さわったり、もつこともできます！
お楽しみに！

12月下旬から、南学園の図書館に“日本や世界の珍奇な生き物”の実物が週替わりで展示されています。岐阜農林高校の沖本先生のご厚意で、コレクションの一部をお借りしています。

子ども達には、見て！ 触って！ 持って！…と、貴重な体験です。

今、「ノコギリエイ」のノコギリ(1m20cm)が展示されており、実物を前にした子ども達は歓声を上げています。興味をもった子の中には、本棚から図鑑を持ってきて広げている子もいました。次回の予告もされており、次はどんな生き物がやってくるのか楽しみです。